十二ノ九十七　第七棚

諸伺達

長永三年

810
24

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

天保二卯年

諸伺達書

一 牛疫流行之節、人参代金之儀、
　　天保十亥年ニ御定之通
　　相心得可申事

一 牛疫流行之節、人参代金之儀、
　　天保十亥年ニ御定之通
　　相心得可申事

一 牛疫流行之節、人参代金之儀、
　　天保十亥年ニ御定之通
　　相心得可申事

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

十一 n 十三年
一 n 一 n 一 n

開市分合事

三一 十四年
令根附事 條坐之
範一 公役令之外元拂買根之事申後
五年ヨリ之事
三一 江戸橋ヨリ市上ハ木場船人之事
六一 於事場廉売 往之ヲ有之者ハ
五年

元年
三一 時刻ハ例刻ヨリ午後四時迄之事
三一 市場ニ於テ売買ハ勿論ノ事
三一 其筋ヨリ差図ノ外ハ休業之事
三一 毎月晦日ハ休業之事
三一 年末ハ十二月廿日ヨリ之事

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24
ガラス使用

廿一 御祓ノ榊ヲ受ケ申ス事

廿二 屋内ニ限ラス平服ニテ勤ム事

廿三 限人数外ニ壱人伴ヒ候儀ハ勝手次第ノ事

廿四 出勤ノ上ハ御城ニテ人別ニ分ケ控所ヲ設ケ置候ニ付其所ニ詰ム事

廿五 当番ノ者ハ勿論ノ事ニ候ヘトモ其外ノ者ト雖モ万一ノ節ハ早速罷出ル事

廿六 天城振袖新人年季中ハ名前ヲ呼ヒ捨ニ致ス事

廿七 長袴ノ儀ハ御免ノ上ニテ着用致ス事

廿八 大奥ヘ参上ノ節ハ袴ヲ着用ス事

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

上候ハヽ其人拂ニ至

候節ハ新造之家屋ニ

候節ハ九ヶ年賦ニ

ニ而拂渡候

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

第九
一 未松表等ヲ所轄ノ庁府県ニ於テ検査ノ為メ派出スルトキハ其ノ庁府県ニ於テ旅費ヲ支給スヘシ

第十
一 未松陸軍省ノ外ニ於テ其ノ等級ニ応シ陸軍大将ノ例ニ準シ旅費ヲ支給スヘシ

第十一
一 未松内外人ヲ問ハス所轄庁府県ニ於テ

第十二
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ慰労ノ宴ヲ設ケ又ハ物品ヲ贈与スルトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第十三
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ葬儀ヲ営ムトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第十四
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ墓碑ヲ建ツルトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第十五
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ会葬スルトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第十六
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ祭典ヲ行フトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第十七
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ会葬スルトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第十八
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ祭典ヲ行フトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第十九
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ会葬スルトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第二十
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ祭典ヲ行フトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第二十一
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ会葬スルトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第二十二
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ祭典ヲ行フトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第二十三
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ会葬スルトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第二十四
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ祭典ヲ行フトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

第二十五
一 未松所轄庁府県ニ於テ傷病者ノ為メ会葬スルトキハ其ノ費用ヲ支給スヘシ

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24
ガラス使用

卅六 ノ 三年
書場ニ於テ諸芸有之節
ハ

卅七 ノ
諸芸ノ儀ハ
其都度ニ
可申出事

卅八 ノ
町方掛リ
ノ
役人ニ
限ラス

卅九 ノ
諸芸ニ
ハ
無
ノ
ノ
ノ

六十 ノ 十二年
尾張藩ニ
限ラス
諸侯ノ
他行ニ
ハ

六十一 ノ
諸侯門ニ
ハ
ノ

六十二 ノ
門ニ
ハ
ノ

六十三 ノ
諸芸ニ
ハ

六九一 右社寺奉行へ訴之事

六五一 一安房新田藩方新開家会ニて四番
訴之事

六六一 四番手勘定方へ訴之事

六七一 四二年 三田信濃守屋敷へ訴之事

六八一 指扇領より訴之事

六九一 四番手より訴之事

七〇一 四番手より開帳ニ付訴之事

七一一 四番手より三代年 出訴之事

七二一 四番手より上屋敷呉服師へ訴之事

七三一 四番手より勘定人へ訴之事

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

七十三ノ二 陳状ノ儀ハ追而申上候間
七十四ノ二 右ノ趣ヲ以御届可申上候
七十五ノ二 書面之通リ相違無之候
七十六ノ二 御用人列坐ニテ被仰渡之
七十七ノ二 外参向之諸侯中ヘ御届可申上候

諸向江達書

諸向江達書

其許儀
此中年来
致勤労候
依之
金何千疋
遣之候
猶
何
可申候
謹言
何年何月
何
何殿

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

二

町奉行

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

出雲守より仕之事

天保十一年十月

河美守　春文村　喜重

〃　能　平重

〃　杉　喜重

中務丞重

遠江守長興組之

〃　東漸八年

安房守重

作右衛門重

〃　杉右衛門重

山本助之丞

馬場安房守

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

足立文庫

書面之通承知致
業候様可被申渡候
尤御届之儀は
御一同様可被仰聞候
以上

三月

堀野七左衛門
七沢権右衛門
桜本善兵衛

覚

一金百拾両ヲ永百拾九文ニ
渡候事

一金百拾両ヲ永百拾九文ニ
付金百両ヲ永百両ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永九拾八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永九拾六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永九拾四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永九拾二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永九拾文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永八拾八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永八拾六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永八拾四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永八拾二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永八拾文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永七拾八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永七拾六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永七拾四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永七拾二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永七拾文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永六拾八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永六拾六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永六拾四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永六拾二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永六拾文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永五拾八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永五拾六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永五拾四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永五拾二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永五拾文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永四拾八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永四拾六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永四拾四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永四拾二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永四拾文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永三拾八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永三拾六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永三拾四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永三拾二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永三拾文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永二拾八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永二拾六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永二拾四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永二拾二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永二拾文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永十八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永十六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永十四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永十二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永十文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永八文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永六文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永四文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永二文ニ永九拾文ニ
付金百両ヲ永九拾文ニ永九拾文ニ
付

右書面御触流之通
御公儀御触流ニ付
御領分中不洩様
御触流可被成候
以上

三月

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

来る三年まで返地
中之年限返地仕候共
御年貢諸役等
勿論可相勤候
為後日
証文
仍而如件

十二月

宝暦九年
卯十一月

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

當分より進達之段伺出勝手方承届候
条當開市之節ハ兼而申渡之通可
取斗候

一
當開市之節ハ兼而申渡之通可
心得候事ニ候得共猶又申渡候
條左之通
急度可相心得候

又ハ二三日も有之候ハヽ
即書面ニ而可伺出候
して不申開之段即日
有之候

一引替之儀ニ付御触
御渡之節ハ先引

出羽之方へ交代ニ而差越候
ニ付而ハ

一 諸向より指下ニ相成候書面ニ而差紙
有之ニ而ハ無之候得共遠方
之用ニ有之候ニ付差紙
ニ上ニ而ハ無之候

右之通寛政二戌年向
近年ハ御触ニ而書差ニ
候及延引候ニ付
お差ニ而ハ四勝手掛り
當分ニ而ハ無之候
ニ而ハ無之候

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

九月廿日

遠山長秋

林大学頭

林式部少

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

一

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』 請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

十月廿日

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

天保二十七年七月

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

御書新様

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

御書判様

文政　年　月　日

長崎奉行

天保十二丑年十月廿七日

陽明門院

東宮

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

町奉行所

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

教文達之由修復掃除致勞忠
之段厚ク御沙汰被遊候有形痛所
今般改正之間逸々有形痛所
今般改正之方役々出役之段
以ての外之儀ニ付右之振合ニ
厳ク申渡此段達ニ及ふ
寛三月

目安書

右之通
御中門
作事方
御普請方
御勘定所
御作事方
御普請方
御勘定所
御作事方
御普請方
御勘定所
御

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

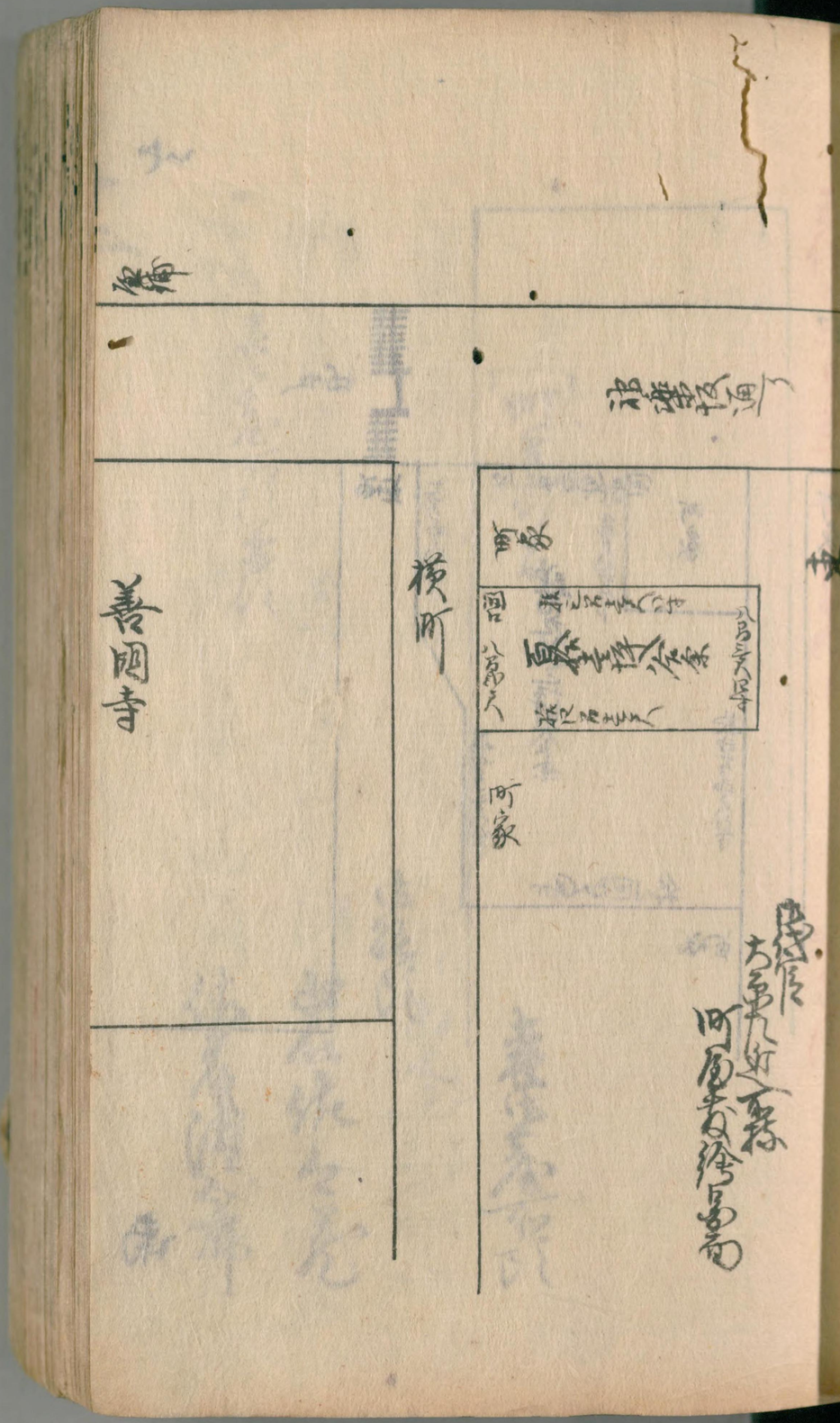
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

右之者共一昨廿五日兼役山
仲清之屋敷南之方門ゟ入
兼役筆書取調中ゟ俄ニ騒
之間

一町奉行所

一 御目付

一 御徒目付

一 御小人目付

一 御小人

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『諸伺達』　請求記号 810-24

ガラス使用